



蓮



香



学校教育目標 “強く、正しく、明るく” 未来を創る明德健児
R7児童会テーマ “ひびけ歌声 元気なあいさつ 明るい心 明德キッズ”



文責：校長 木谷光男



明德小教育の重みと伝統に思いをはせる

142才の誕生日、おめでとうございます。4月28日は開校記念日でした。明德小学校は、1883年（明治16年）4月28日に設立されました。新校舎は洋風2階建てで窓にはガラスを用いていて、当時は大変珍しいものであったそうです。当時、窓はガラスではなかったのですね。残念ながら当時の校舎写真等は見つけることができませんでした。

明德小学校の起源はさらにさかのぼり、江戸時代12代将軍徳川家斉の時代、1821年（文政4年）に設立された私塾四如堂になります。204年前、気が遠くなるほど前のことです。

【校名の由来】

秋田藩第9代藩主佐竹義和公が創設し、数多くの人材を輩出した藩学「明德館」の伝統と学風を継承して選ばれたもの。儒教の教典である四書（大学、中庸、論語、孟子）の一つ「大学」に記されている「大学之道、在明明徳」に由る。天から受けたくもりのない本性、すなわち「仁義礼智」の徳を明らかにすることにある。

【校章の由来】

「5本骨、日の丸の扇」3本の中央に明德の明の字。5本骨の日の丸（月丸）の扇は、源家にゆかりの深い秋田藩主佐竹公の家紋であり、3本の扇によって、それぞれ、知・徳・体を表徴し、「強く 正しく 明るく」の明德精神を表している。校旗は桃色の地に金色の校章であるが、普段は桃色の校章を使用することが多い。

明德小学校要覧より

健やかな子どもの成長を願う思いは同じ



4月24日（木）に行われたPTA授業参観・全体会・学級懇談会には、多数の保護者の皆様に参加していただきました。大変うれしく思うとともに、足を運んでいただいたことに感謝いたします。

保護者の皆様の参加は、子どもの健やかな成長を願い、学校・学級担任と理解し合いながら、ともに力を合わせていきたいという心の表れではないかと考えました。

力を合わせていくためには、理解し合うことが大切と考えます。心配事や共通理解したいことなどがございましたら、遠慮せずにご連絡いただければと思います。

伝統のハッピーが息づく活動 ～1年生を迎える会～

今年、明德小学校は、毎日の出来事にハッピーを感じることができる学校を目指しています。

25日（金）は特別なハッピーデーでした。全校の子どもたちの笑顔、躍動感いっぱいの動き、響く声を見聞きすると、ハッピーデーとなったことは間違いありませんでした。さらに、「全校みんなで一つの会を創り上げた連帯感」「代表あいさつや呼びかけをやり遂げた充実感」「1年生の笑顔に嬉しさを感じた有用感」「時間をかけての準備が成功した達成感」等、ハッピーを表面には見えない部分でたくさん感じ取ることができました。ハッピーを子どもたちに実感させ、毎日の活力につなげていきたいと思います。



<がんばれ！その調子> <準備の成果を生かして> <みんなで盛り上げよう> <ハキハキがんばるぞ>

命の重さ ～思いやりの心を育む～

朝の交通安全指導を終えた私が学校に戻る坂を登ってくると、玄関まで続く階段で止まっている子どもたち5・6人が見えました。階段まで来ましたが、子どもたちは、下を向きじっとして動こうとしません。「どうしたの？」と尋ねると、「ミミズがかわいそう。つぶされてしまう。助けたい。」と言うのです。目を凝らしてみると、小さなミミズが一匹、ピクリとも動かずにいました。

雨が降ると、なぜかミミズたちが道路にはい出てくるものです。そして、雨が上がり天気が良くなると湿った場所に戻れずに乾いてしまうミミズを見ることがあります。雨が上がると乾燥するのに、なぜ、危険な場所に出てくるのでしょうか。呼吸をするため、モグラから逃げるため、容易に移動するため等、いくつかの仮説はありますがその理由は明らかになっていないそうです。

そこで、落ちていた松の葉を使い、ミミズをすくい上げ、草の生えているところに移動してあげました。「ありがとうございます。」との子どもたちの声もつかの間、数歩進むごとに、またミミズ。玄関まで5匹助けることになりました。子どもたちは「5匹のミミズの命を救ったね。」と喜んで玄関に足を進めていきました。

ミミズにも命があります。ここに集まった子どもたちは、「命の重さは大きさではないこと、かけがえのないものであることをしっかりと心に刻んでいる。」と感動した朝の出来事でした。

